

## 第 4 5 回全日本社会人卓球選手権大会

- (1) 名称 第 4 5 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 2 3 年 1 1 月 4 日 (金) ~ 6 日 (日)
- (3) 会 場 べっぷアリーナ  
(JR「別府」駅から徒歩 1 5 分)  
〒874-0902 大分県別府市青山町 8 番 3 7 号  
TEL : 0977-21-2323 FAX : 0977-21-8090
- (4) 主 催 (財)日本卓球協会
- (5) 主 管 大分県卓球連盟
- (6) 後 援 大分県、大分県教育委員会、(財)大分県体育協会、別府市、  
別府市教育委員会、
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス  
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。  
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 1 6 人はベスト 3 2 決定戦よりス  
ーパーシードとして出場する。(ダブルスのスーパーシードは設けない)  
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマ  
ッチとする。
- (9) 競技日程 1 1 月 4 日 (金) 9 : 0 0 ~ 開会式  
9 : 3 0 ~ 男女ダブルス (1 ~ 5 回戦)  
男女シングルス (1 回戦の一部)  
5 日 (土) 9 : 0 0 ~ 男女シングルス (1 ~ 5 回戦)  
男女ダブルス (準決勝・決勝)  
6 日 (日) 9 : 0 0 ~ 男女シングルス (6 回戦~決勝)  
1 5 : 0 0 ~ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。  
②卓球台はグリーン又はブルーを使用する。  
③使用球は、J T T A 公認球 ; 4 0 mm ホワイトとする。  
④同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォー  
ムを持参すること。  
⑤ゼッケンは平成 2 3 年度(財)日本卓球協会指定のものを使用すること。  
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないも  
のとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 2 3 年度  
(財)日本卓球協会登録者でかつ、段級制規程(注 1 参照)に定められ  
た有段者であること。  
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場  
できない。  
③学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生及び生徒は出場でき  
ない。ただし、勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学にお  
いて夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部に在籍、または、  
高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものはこの限り  
ではない。  
④全日本卓球選手権大会(マスターズの部)への重複出場は禁止する。  
ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルス  
には出場することが出来る。  
⑤各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。  
⑥外国籍選手は日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、  
あるいは、引き続き 1 0 年以上日本に在住している者は、男女シング  
ルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。

⑦無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルの部

- (イ)平成22年度全日本社会人卓球選手権大会  
男・女シングルスベスト16の者。
- (ロ)平成22年度全日本卓球選手権大会（一般の部）  
男・女シングルスベスト16の者。
- (ハ)クラブ委員会からの推薦者男・女各2名。  
平成23年度全日本クラブ選手権終了後に決定する。

◎ダブルスの部

- (イ)平成22年度全日本社会人選手権大会  
男・女ダブルスベスト8の組。
- (ロ)平成22年度全日本卓球選手権大会  
男・女ダブルスベスト8の組（但し同一加盟団体の組のみ）

(12) 参加人員 表1

区分	種目 都道府県名	男子	女子	男子	女子
		シングルス	シングルス	ダブルス	ダブルス
1	北海道,東京,愛知,福岡,大分(開催地)	10	10	5	5
2	埼玉,神奈川,静岡,京都	8	8	4	4
3	千葉,大阪,広島,長崎	6	6	3	3
4	青森,岩手,宮城,秋田,山形,福島,茨城,栃木,群馬,山梨,新潟,長野,富山,石川,福井,三重,岐阜,滋賀,兵庫,奈良,鳥取,島根,岡山,山口,香川,愛媛,高知,佐賀,熊本,宮崎,鹿児島,沖縄	4	4	2	2
5	和歌山,徳島	2	2	1	1

区分1：開催県及び平成22年度日卓協一般男女登録人員上位4加盟団体

区分2：平成22年度日卓協一般男女登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成22年度日卓協一般男女登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：平成22年度日卓協一般男女登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

(13) 参加料

シングルス 1名 3,000円  
ダブルス 1組 4,000円

(14) 申込方法

別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて日本卓球協会宛送金のこと。

(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 財団法人日本卓球協会)

**(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。)**

原本を〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内  
(財)日本卓球協会 宛

TEL:(03)3481-2371、FAX:(03)3481-2373  
コピーを〒870-1139 大分県大分市寒田南町4-4-4

大野成臣 様気付 大分県卓球連盟 宛

TEL・FAX:(097)569-2374

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。また申込書にその旨を明記する事。

(15) 申込締切

平成23年9月20日(火)必着のこと。  
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 JR九州旅行大分支店より送付しております。

- (17) そ の 他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
  - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会及び主管団体宛連絡すること。
  - ③ 開会式には原則として全員参加すること。
  - ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
  - ④ 本大会及び予選におけるケガ、疾病が発生した場合は、本会規程により「お見舞金」が支給されます。
  - ⑤ 個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。

⑥ 大会期間中、任意に「ドーピング検査」を実施する。選手はこれを拒否することは出来ない。拒否した場合にはドーピング検査陽性として制裁対象となる。尚、注意事項については別紙「ドーピング検査について」を参照のこと。  
医療機関から処方された薬であっても禁止薬物を含んでいれば処罰の対象となる。病気の治療上、禁止薬物の内服が必要な場合には、大会の3週間前迄に日本アンチ・ドーピング機構への届け出が必要である。検査対象となった後の届け出は無効であり「陽性」として処分される。

別表 1

第44回（平成22年度）全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス					女子シングルス				
1	張	一博	(東京)	東京アート	1	藤沼	亜衣	(茨城)	日立化成
2	韓	陽	(東京)	東京アート	2	山梨	有理	(岐阜)	十六銀行
3	森田	侑樹	(東京)	シチズン	3	若宮	三紗子	(大阪)	日本生命
4	小野	竜也	(東京)	協和発酵キリン	4	藤井	寛子	(大阪)	日本生命
5	大矢	英俊	(東京)	東京アート	5	福岡	春菜	(広島)	中国電力
6	高木	和卓	(東京)	東京アート	6	渡辺	裕子	(茨城)	日立化成
7	森田	有城	(和歌山)	住友金属物流	7	小野	思保	(東京)	サンリツ
8	時吉	佑一	(愛知)	時吉スクール	8	小西	杏	(山口)	個人
	水野	裕哉	(東京)	東京アート		伊藤	みどり	(岐阜)	十六銀行
	田中	満雄	(東京)	シチズン		河村	悠加	(広島)	中国電力
ハ	塩野	真人	(東京)	東京アート	ハ	土井	みなみ	(茨城)	中国電力
ス	久保	田隆三	(東京)	シチズン	ス	脇ノ	谷直子	(東京)	サンリツ
ト	木方	慎之介	(東京)	協和発酵キリン	ト	石塚	美和子	(岐阜)	十六銀行
16	沼田	勝	(和歌山)	住友金属物流	16	末益	薫	(熊本)	ルネサスSKY
	高木	和健一	(東京)	東京アート		狭間	のぞみ	(岐阜)	十六銀行
	横山	友一	(東京)	協和発酵キリン		阿部	恵	(東京)	サンリツ
男子ダブルス					女子ダブルス				
1	韓	陽	(東京)	東京アート	1	阿部	恵	(東京)	サンリツ
	張	一博	(東京)	東京アート		小野	思保	(東京)	サンリツ
2	坂本	竜介	(東京)	協和発酵キリン	2	侯	琳	(東京)	サンリツ
	小野	竜也	(東京)	協和発酵キリン		杉本	枝穂	(東京)	サンリツ
3	久保	田隆三	(東京)	シチズン	3	刘	婷	(茨城)	日立化成
	森田	侑樹	(東京)	シチズン		楊	飛飛	(茨城)	日立化成
4	高木	和卓	(東京)	東京アート	4	佐藤	彩恵	(東京)	サンリツ
	大矢	英俊	(東京)	東京アート		岡本	真由子	(東京)	サンリツ
5	高木	和健一	(東京)	東京アート	5	藤井	寛子	(大阪)	日本生命
	水野	裕哉	(東京)	東京アート		若宮	三紗子	(大阪)	日本生命
6	田	邦史	(東京)	協和発酵キリン	6	藤沼	亜衣	(茨城)	日立化成
	横山	友一	(東京)	協和発酵キリン		渡辺	裕子	(茨城)	日立化成
7	阿部	一博	(東京)	リコー	7	張	巍	(三重)	エクセディ
	森下	雄太	(東京)	リコー		河野	千春	(三重)	エクセディ
8	木下	慎之介	(東京)	協和発酵キリン	8	越崎	歩	(広島)	中国電力
	下山	隆敬	(東京)	協和発酵キリン		福岡	春菜	(広島)	中国電力

平成22年度全日本卓球選手権大会ランキングによる推薦者

男子シングルス					女子シングルス				
1	水谷 隼	(東京)	明治大学		1	石川 佳純	(大阪)	ミキハウスJSC	
2	張 一博	(東京)	東京アート		2	藤井 寛子	(大阪)	日本生命	
3	高木 和卓	(東京)	東京アート		3	福原 愛	(東京)	A N A	
4	吉田 海偉	(山口)	個人		4	藤沼 亜衣	(茨城)	日立化成	
5	松平 賢二	(青森)	青森大学		5	森 蘭美	(青森)	青森山田高校	
6	笠原 弘光	(東京)	早稲田大学		6	渡辺 裕子	(茨城)	日立化成	
7	岸川 聖也	(山口)	スヴェンソン		7	平野 早矢	(大阪)	ミキハウス	
8	丹羽 孝希	(青森)	青森山田高校		8	高橋 真梨子	(大阪)	四天王寺高校	
9	軽部 隆介	(東京)	明治大学		9	田代 早紀	(大阪)	日本生命	
10	時吉 佑一	(愛知)	時吉スクール		10	若宮 三紗子	(大阪)	日本生命	
11	松平 健太	(東京)	早稲田大学		11	小西 杏	(山口)	個人	
12	坂本 竜	(東京)	協和発酵キリン		12	・田 美紀	(広島)	中国電力	
13	韓 陽	(東京)	東京アート		13	山 梨 有	(岐阜)	十六銀行	
14	下 山 隆敬	(東京)	協和発酵キリン		14	天 野 優	(高知)	明德義塾高校	
15	田・ 邦史	(東京)	協和発酵キリン		15	石 垣 優香	(埼玉)	淑徳大学	
16	森 本 耕平	(愛知)	愛知工業大学		16	藤 井 優子	(大阪)	近畿大学	
男子ダブルス					女子ダブルス				
1	松平 健太	(東京)	早稲田大学		1	藤井 寛子	(大阪)	日本生命	
	丹羽 孝希	(青森)	青森山田高校			若宮 三紗子	(大阪)	日本生命	
2	水谷 隼	(東京)	明治大学		2	阿部 恵	(東京)	サンリツ	
	岸川 聖也	(山口)	スヴェンソン			小野 思保	(東京)	サンリツ	
3	木方 慎之介	(東京)	協和発酵キリン		3	照井 萌美	(東京)	早稲田大学	
	田勢 邦史	(東京)	協和発酵キリン			中島 未早希	(東京)	早稲田大学	
4	韓 陽	(東京)	東京アート		4	藤沼 亜衣	(茨城)	日立化成	
	張 一博	(東京)	東京アート			福平 暁	(茨城)	日立化成	
5	高木 和卓	(東京)	東京アート		5	田代 早紀	(大阪)	日本生命	
	高矢 英俊	(東京)	東京アート			藤井 優子	(大阪)	近畿大学	
6	鹿屋 良平	(山口)	野田学園高校		6	樋浦 令子	(大阪)	ミキハウス	
	有延 大夢	(山口)	野田学園高校			酒井 春香	(大阪)	ミキハウス	
7	松平 賢二	(青森)	青森大学		7	越崎 歩	(広島)	中国電力	
	上田 仁	(青森)	青森大学			福岡 春菜	(広島)	中国電力	
8	高木 和健	(東京)	東京アート		8	平野 早矢	(大阪)	ミキハウス	
	水野 裕哉	(東京)	東京アート			石川 佳純	(大阪)	ミキハウスJSC	

クラブ委員会推薦

男子シングルス		女子シングルス	
1	( )	1	( )
2	( )	2	( )

注1) 段級制規程要約

段位取得について (平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人卓球選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)  
 ③全日本選手権大会(一般・ジュニア) ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合がある。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約(平成元年以降) (ア) 初出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・初段 (イ) 同一大会3回目出場者・・・・・・・・・・2段 (ウ) 同一大会5回目出場者・・・・・・・・・・3段 (エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト16入り経験者・・・・4段 (オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト4入賞経験者・・・・5段 (カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者・・・・6段
--